広報ごぼう　編集／発行　御坊市役所 企画政策課 秘書室　〒644－8686　和歌山県御坊市薗350番地2　☎0738－23－5536　FAX0738－23－5077　印刷　有限会社 隆文社印刷所

市長メッセージ

「希望のバトンをつなぐ
～誰もが主役のまち、ごぼう～」

　穏やかな小春日和が心地よい季節となりました。皆様には、実りの秋をお楽しみのことと存じます。

　さて今月は、御坊市が全国のトップランナーとして進めている大切な取り組み「認知症施策」についてお話しします。

　私は、一人でも多くの市民の皆さんに「生まれて住んで良かったまち御坊、誰もが住みたいまち御坊」と思っていただけるまちの実現を目指しています。その大きな柱の一つが、認知症の有無にかかわらず、すべての市民が自分らしく輝ける「ごぼう総活躍のまちづくり」です。

　本市は、全国の自治体に先駆けて、本人の視点に着目した「御坊市認知症の人とともに築く総活躍のまち条例」を制定しました。この条例には、「認知症は特別なことではない。たとえ認知症になっても、希望を持って新しいことに挑戦し、いつまでも活躍できる」という強いメッセージが込められています。これは、認知症の方だけでなく、すべての市民の幸せにつながる理念だと確信しています。

　先日、私たちの思いをより多くの皆さんにお伝えするため、二代目となる「あがらの総活躍希望大使」にお二人を任命いたしました。

　今回、この大役を快くお引き受けくださったお二人は、認知症とともに歩みながらも希望を胸に抱き、前向きに日々を過ごしておられます。そのお姿は、市民にとって大きな勇気と希望の光です。これからお二人には、様々な場でご自身の経験や思いを語っていただき、認知症への正しい理解を広める活動にご協力いただきます。「認知症になったら何もできなくなる」というのは、もはや昔の考え方です。周りの少しの理解と支えがあれば、できることはたくさんあります。お二人がいきいきと活動する姿が、何よりの答えです。

　認知症は、誰にとっても身近で、特別なことではありません。まずは「知る」ことから始めてみませんか。市では、認知症について学べる「ごぼう総活躍のまち講座」なども開催しています。

　皆さんお一人おひとりの小さな思いやりが、誰もが安心して暮らせる社会を築く大きな力となります。

　御坊市はこれからも、認知症のご本人やご家族の声に耳を傾け、市民の皆様、関係機関の皆様と手を携えて、「誰もが主役になれるまちづくり」を進めてまいります。新しい希望大使のお二人とともに、この御坊市から希望のバトンを未来へ、そして全国へとつないでいきたいと強く願っています。

御坊市長　三浦（みうら）　源吾（げんご）

広告

自宅介護でお困りごとはございませんか？
お気軽にご相談ください。　☎0738-52-5217
社会医療法人 黎明会（REIMEIKAI）　ケアプランきたで・和佐の里
営業時間 8:30～17:30（月曜日～土曜日）　※日曜日・12月31日～1月3日は休業

あなたの時間を有効活用！ ちょこっとシルバーしませんか。
会員募集
60歳以上のお仕事したい方に！
御坊市在住、60歳以上の方で
健康で働く意欲のある方に！
◆ 平均年齢　73.8歳 ◆
※お仕事内容はセンターによって異なります
※定期入会説明会 毎月1日/15日 午後1時30分～ 御坊市シルバー人材センター(休日の場合は翌日)事前に予約連絡を

事業主の皆様・ご家庭の皆様
さまざまなお仕事お引き受けしています。
お気軽にご連絡ください。
お問合せ先
御坊市シルバー人材センター
電話090-8655-7556
御坊市薗76番地(御坊市立体育館内)
厚生労働省委託事業 高齢者活躍人材確保育成事業　公益社団法人 和歌山県シルバー人材センター連合会

紀州新聞は購読料
（1ヵ月）税込 2,000円
※郵送の場合は別途
紀州新聞社
御坊市島172　☎0738(22)2536(代)

ひとの動き（外国人住民を含む）■総人口　20,760（－38）■男　9,887（－22）■女　10,873（－16）■世帯数　10,680（－16）
※令和７年９月末　（　）内は前月比